

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2013年6月2日聖日礼拝

---

使徒の働き連講④

「使徒職の継承」

使徒の働き 1章 15～26節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 1章15 – 26節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp208~/ 第三版の聖書はp228~

15 そのころ、百二十名ほどの兄弟たちが集まっていたが、ペテロはその中に立ってこう言った。

16 「兄弟たち。イエスを捕らえた者どもの手引きをしたユダについて、聖霊がダビデの口を通して預言された聖書のことばは、成就しなければならなかったのです。

17 ユダは私たちの仲間として数えられており、この務めを受けていました。

18 (ところがこの男は、不正なことをして得た報酬で地所を手に入れたが、まさかさまに落ち、からだは真っ二つに裂け、はらわたが全部飛び出してしまった。

19 このことが、エルサレムの住民全部に知れて、その地所は彼らの国語でアケルダマ、すなわち『血の地所』と呼ばれるようになった。)

20 実は詩篇には、こう書いてあるのです。

『彼の住まいは荒れ果てよ、そこには住む者がいなくなれ。』また、『その職は、ほかの人に取らせよ。』

21 ですから、主イエスが私たちといっしょに生活された間、

22 すなわち、ヨハネのバプテスマから始まって、私たちが離れて天に上げられた日までの間、いつも私たちと行動をともにした者の中から、だれかひとりが、私たちとともにイエスの復活の証人とならなければなりません。」

23 そこで、彼らは、バルサバと呼ばれ別名をユストというヨセフと、マッテヤとのふたりを立てた。

24 そして、こう祈った。「すべての人の心を知っておられる主よ。

25 この務めと使徒職の地位を継がせるために、このふたりのうちのどちらをお選びになるか、お示してください。ユダは自分のところへ行くために脱落して行きましたから。」

26 そしてふたりのためにくじを引くと、くじはマッテヤに当たったので、彼は十一人の使徒たちに加えられた。

# 説教

## 使徒の働き連講④

### 「使徒職の継承」

使徒の働き 1章 15～26節

竿代照夫 牧師





## 主テキスト

「すべての人の心を知っておられる主よ。  
この務めと使徒職の地位を継がせるた  
めに、このふたりのうちのどちらをお選び  
になるか、お示してください。・・・くじは  
マッテヤに当たったので、彼は十一人の  
使徒たちに加えられた。」

(使徒1:24—26)

はじめに: 主の再臨の約束(11節=復習)

- 昇天された主は再び来給う
- それまでの「宿題」は、全世界の宣教
- 聖霊を求める祈り会

# 1. 会合の状況(15節)

- ・場所:(多分)ヨハネ・マルコの母マリヤの二階屋
- ・指導:回復したペテロ

## 2. ユダ脱落の経緯説明(16-19節)

- ・ユダの件は、偶発的ではなく摂理の中で起きた
- ・ユダは12弟子の一人であった
- ・ユダが主の逮捕の手引きとなった
- ・その悲惨な最期: ①自死の状況;  
②地所の購入と用途

### 3. 詩篇の予言の成就(20節)

- ・主の裁きとして(詩篇69:25「彼らの陣営を荒れ果てさせ、彼らの宿営にはだれも住む者がないようにしてください。」)
- ・代わりの選任(詩篇109:8「彼の日はわずかとなり、彼の仕事は他人が取り・・・(ますように)。」)

## 4. 使徒職の補充(21-23節)

- ・使徒職の要件: ①主の活動に始めから参加;  
②主の復活の目撃
- ・選任の手続き: 皆にはかり、候補を立てる
- ・二人の候補: ①ヨセフ=バルサバ(安息日の子)別名はユスト(正義);  
②マッテヤ(70弟子の一人)

## 5. マツテヤの選任(24-26節)

- みこころを求める祈り
- くじ引き:「くじは、ひざに投げられるが、そのすべての決定は、主から来る。」  
(箴言16:33)
- 結果: マツテヤが選任(後に、エチオピアの宣教師)、ヨセフも協力

おわりに

宣教のトーチは私たちに継承されている